

原田ゼミ

海老江での活動

原田ゼミでは、毎月第2日曜日に淀川の海老江でNPO法人ゴミゴ主催のゴミ拾い活動に参加しています。私たちだけではなく、企業の方や家族連れの方、若い人からお年寄りの方までと、多くの方たちが来てくださっています。

活動は朝の10:00~12:00で、毎月行っている活動ですが、流れ着くゴミが絶えることはありません。特に今年の夏は大雨や、台風が多発した影響で、沢山のゴミが流れ着いていました。

他にも私たちのゼミでは、ゴミの種類を記録する事もしています。危険な廃棄物なども捨てられており、注意が必要な危険物としては、中身の入っているスプレー缶や、違法投棄の注射器などもたびたび見つかっています。

庭窪ワンドでの活動

ワンドとは、川と繋がってはいるが、河川の構造物に囲まれたため、水の流れが緩やかになった所です。ワンドは、魚にとっての格好の住処となり、さらにそういった流れの緩やかな場所を好む水生植物が育ち、それが魚の産卵や稚魚が暮らす絶好の場所となります。

しかし、ここにゴミが流れ込んでくると、流れが弱いため、ゴミが出て行かずに、ワンド内に溜まってしまふこととなります。

私たちは、6月24日に行われた河川レンジャー主催の「周辺散策と清掃活動」に参加してきました。

実際に胴長を履いて、ワンドに入ってゴミの除去をしたり、ワンド周辺に生えているアシを狩るなどしました



イタセンパラは、淀川のワンドに分布していますが、外来種による生態系の破壊や、ゴミによる水質汚染などにより、イタセンパラや、産卵のために必要な二枚貝が激減しています。イタセンネットの活動で、定期的なイタセンパラの放流や、ワンドの清掃活動、外来種の駆除等、生態系保持のための積極的な活動を行っています。2013年10月に放流式が行われ、その様子がテレビで取り上げられ、関心が高まりイタセンパラの増加や淀川水系の保全が期待されるようになりました。

